

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-1	事業名	地球に優しいまちづくり支援事業				
担当	西区市民部地域振興課 岩井 641-2400(内線238)						
全体計画							
事業内容	西区では環境モデル区として地域密着型エコ事業を展開してきたが、これまでのエコライフや環境活動が定着し、住民自らの手で継続・発展する「地球に優しいまちづくり」の側面支援を行うことにより、住民自治と環境文化の推進を図る。 1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(環境活動に取り組む団体へ助成金による支援等) 2 西区民会議活動推進支援事業(環境活動分野に応じ細分化した実践推進体・テーマ部会の新設により、これまでの地区別部会を併せた西区民会議の機能強化と活動の充実・発展) 3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(子ども達の参加により作成した環境活動手引き絵本の普及及び次世代実践者育成のため児童・生徒対象の環境活動プログラムの実施・支援) 4 新環境フロンティア事業(カーシェアリングやエコマネーなど先取的な取組・システムの先取事例調査)			<年度別の事業内容>			
				<平成19年度> 1 地球に優しいまちづくり活動支援事業 2 西区民会議活動推進支援事業 3 こども西区民会議ネットワーク支援事業 <平成20年度> 平成19年度の3事業の継続・拡充に加え、新環境フロンティア事業の実施 <平成21年度以降> 平成20年度事業の継続・拡充を図り、これまでの環境活動がさらに定着し、住民自らの手で継続するまちづくりに引き続き取り組む。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(事業費:1,327千円) ・地区別部会 まちづくり団体助成金(1地区) ・ペレットストーブモニター制度(6件) ・ペレットストーブ実演展示キャラバン(6会場、5,700名) 2 西区民会議活動推進支援事業(事業費:5,058千円) ・キャンドルナイトin琴似二十四軒(779名、480店舗) ・地区別部会 自主運営・自主活動への負担金(美味しいエコフェスタ、ちえりあ、3,000名) ・地球に優しいまちづくり活動報告会とセミナー(区民センター、150名) ・情報発信スペース新設(地下鉄琴似駅) 3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(事業費:2,079千円) ・環境活動手引き絵本「さんかくやまべえが行く。」作成(編集局員23名、編集活動5回、7,000部作成) ・水生生物観察会(2校、159名) ・こども環境活動発表会(区民センター、200名)			1 地球に優しいまちづくり活動支援事業(1,300千円) ・地区別部会 まちづくり団体活動助成金(「美味しいエコフェスタ」「キャンドルナイトin琴似二十四軒」) 2 西区民会議活動推進支援事業(600千円) ・地球に優しいまちづくり活動報告会とセミナー ・情報発信スペース整備 ・ようこそ北海道洞爺湖サミットへ「エコまち西区deリレーイベント」 3 こども西区民会議ネットワーク支援事業(1,100千円) ・環境活動手引き絵本「さんかくやまべえが行く。」普及促進 ・こども環境活動発表会 ・水生生物観察会 4 新環境フロンティア事業(新システム試験導入事業)(800千円) ・先取事例調査			
達成目標の状況							
項目	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)	
計画期間中の環境活動への参加者数(19年度からの累計)	24,322人	14,293人	27,003人	32,713人	38,373人	36,500人(H19-22累計)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 西区の環境活動の中心的役割を担う「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」において、町内会、学校、企業等が参加し、連携をとりながら地球に優しいまちづくりに取り組んでいる。 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力]西区民会議テーマ部会広報部会において、民間事業者の持つホームページや情報誌などの情報媒体を活用した情報発信により、区民のまちづくりへの参加促進を図る。 [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」ホームページや、テーマ部会「広報部会」による情報発信により、多くの市民が参加しやすい仕組みとなっている。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-1	事業名	地球に優しいまちづくり支援事業				
評価(成果)		課題					
<p>1 地球に優しいまちづくり活動支援事業</p> <p>西区民会議地区別部会の一つである「美味しいエコフェスタ実行委員会」に対し、まちづくり団体活動助成金による支援を行い、地域主体の環境活動を実現することができた。</p> <p>また、次世代エネルギーの支援として、ペレットストーブモニター制度を実施し、区内6件の申請があり、先取的に木質バイオマスの普及促進を図る目的を達成した。</p> <p>2 西区民会議活動推進支援事業</p> <p>西区民会議地区別部会である「美味しいエコフェスタ」へ負担金による支援を行い、自主運営・自主活動の推進を図った。</p> <p>また、西区民会議情報発信スペースを人の行き交う公共施設内に新設することで、西区民会議の活動を広く区民に周知し、わかりやすい情報を提供することにより、環境意識の啓発や環境に配慮した行動の実践を促し、区民の環境活動への参加促進及び地域で行われる環境活動の参加の輪の拡大の契機となった。</p> <p>3 こども西区民会議ネットワーク支援事業</p> <p>区民の具体的な行動・実践につなげるための実践ガイドブックを作成することで、環境意識の啓発や環境に配慮した行動の実践を促し、区民の環境活動への参加促進を図った。</p> <p>また、この絵本編集活動を通じ、子どもたちも知らず知らず「まちづくり」に参加することで、まちづくり活動実践者となるのみならず、情報発信の実体験を通じて、これまで情報発信に対し受動的であった意識を能動的なものへと変容させた。</p>		<p>環境に配慮した生活(エコライフ)や環境活動が定着するためには、地域主体の継続的活動が不可欠であり、地域住民による「地球に優しいまちづくり、エコライフ・コミュニティ」を実現していく必要がある。</p> <p>そのため、これまでの環境活動で構築された「地域の主体者としての自覚」や「環境に対する意識」といった機運を、より多くの区民・地域に定着させるとともに、今後は、市民レベルでのCO2削減をより具体化するため、先駆的な仕組みづくりを行うことで、さらに地域が主体的・自主的となった継続的な活動へと発展させていく必要がある。</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>「地球に優しいまちづくり、エコライフ・コミュニティ」を実現していくためには、地域住民が主体的に活動することが必要不可欠であり、その活動の中心的役割を担うのが「西区民会議」である。</p> <p>現在、西区民会議「テーマ部会」では、「こども・自然環境部会」「エコライフ・リサイクル部会」のように、環境分野を細分化し、機動性のある実施推進体が率先して実践しているほか、西区民会議「地区別部会」では、地域特性を活かした環境活動を展開している。</p> <p>今後は、区民が主体となった地域ぐるみの環境活動への参加促進を図るとともに、世代を超えた継続的な取り組みとして、「こども・自然環境部会」を中心に、こどもたちの次世代実践者・市民自治の担い手としての活動や成長に対する支援を行う。</p> <p>さらに、市民レベルでのCO2削減をより実行化・具現化するため、これまでの普及啓発を主としていた環境施策を、より具現化な実践行動へと変容させるため、「エコライフ・リサイクル部会」を中心として、カーシェアリングやエコマネーなど具体的な先取事例の調査をし、市民レベルでの具体的な手法を地域において試験的に導入し、検討を行うとともに、地域での活動を区全域へと波及するシステムの構築へ向け支援を行う。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	5,000	3,500	3,500	3,000	15,000	
	財源内訳	国・道支出金	250	0	0	0	250
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,750	3,500	3,500	3,000	14,750
予算	事業費	5,000	4,200	-	-	9,200	
	財源内訳	国・道支出金	250	0			250
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	4,750	4,200			8,950
実績	事業費	8,464	-	-	-	8,464	
	財源内訳	国・道支出金	142				142
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	8,322				8,322
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				84.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体)</p> <p>平成20年度については、全額元気なまちづくり支援事業費を充てることとする。</p> <p>[19年度]</p> <p>環境普及活動や環境活動支援として、環境活動手引き絵本増刷やWeb版の制作等を行ったため、事業費実績が増額となった。</p> <p>[20年度]</p> <p>7月の「北海道洞爺湖サミット」開催に伴い、国内外で環境問題への関心が一層高まる中、これに併せ、6月中旬から7月上旬までを集中取組期間として「エコまち西区deリレーイベント」を展開し、環境活動を通じた市民参加の促進及び環境文化の醸成を図るとともに、地域で行われる環境活動への参加の輪の拡大契機とするほか、来訪される多くの方々を温かく迎える「おもてなし」として、環境活動を通じサミット歓迎機運を盛り上げる事業を実施する。</p>							